

諏訪・岡谷地方の経済概況速報

平成20年12月

(平成20年11月末調査)

平成20年12月16日

長野県岡谷市郷田二丁目1番8号

諏訪信用金庫
経営相談室

<http://www.suwashinkin.co.jp>

TEL 0266 (23) 4567

FAX 0266 (23) 8044

		実 数	前年同期比	
有効求人倍率【10月】	諏訪公共職業安定所管内	1.11倍	△0.19ポイント	
手形交換高【11月】 (諏訪手形交換所扱)	枚 数	7,647枚	△3,594枚	
	金 額	9,300百万円	△3,607百万円	
	うち不渡り	枚 数	0枚	△1枚
	発生状況	金 額	0千円	△23千円
電力使用量【11月】 (中電諏訪営業所管内)	電 灯	44,866 MWh	+2.9%	
	電 力	8,204 MWh	△2.1%	
車庫証明取扱件数【11月】(諏訪地方合計)		872件	△21.8%	
新設住宅着工件数【20年4月～10月】(諏訪管内)		978戸	+4.7%	

地域の概況

●製造業

自動車部品の下請企業の受注は、大手メーカーの減産の影響による発注キャンセルや生産計画の変更などから大幅に減少している。工作機械・専用機関連も設備投資意欲の減退から全ての業種向けで受注は減少しており、発注のキャンセルや先延ばしがきかれる。また、これまで比較的堅調に推移していたデジタルカメラ関連企業でも、親会社の生産計画の見直し等から下請企業の受注は大幅な減少がきかれる。金型の新規発注は低調に推移しており、ダイカスト関連でもガス器具等は堅調な動きであるが自動車向けは減少している。

米国の金融不安の影響が実体経済に及び円高も進行するなかで、諏訪地域の製造業の受注は大手企業の減産や中堅企業の内製化の動きから大きく減少しており、ヒアリング調査では11月の売上高の状況は前月比10～20%減少、前年同月比では30～40%減少という企業が多くきかれる。

また、年明けの受注見通しが立たないとする企業も多く、先行きは一層不透明感が強くなっている。

●商業

12月に入ると諏訪地域のガソリン価格は116円台と、高値のピークであった7月の182円台から大幅に値下がりしているものの、製造業を中心に景況感が急速に悪化していることから、消費マインドも低下したまま推移している。

11月の消費動向は、衣料品は紳士物や高額品を中心に売れ行きは低調となっており、食料品はチラシ等の特売品を目当ての来店客は増えているものの、買上点数の減少から売上は伸びていないところが多い。11月の自動車販売台数(軽自動車を除く)は前年同月比△21.8%と売れ行きは前年を大幅に下回った。

また、お歳暮ギフトの売れ筋価格帯は前年より低下している。

●観光業

今年の諏訪地方は、年間を通してNHK大河ドラマ「風林火山」の効果があつた昨年と比べ、入込み客数や宿泊客数が減少した年となった。地域では、滞在型で回遊性のある観光、外国人観光客の誘致、産業視察を組み込んだ観光などの検討を始めており、今後の集客が期待される。

上諏訪温泉の宿泊客数は平日の団体客の減少から前年比10%程度減少しており、下諏訪温泉は七五三の会食等により日帰り客は前月を上回ったところが多くきかれるが、総体での宿泊客数は前年より20%程度減少している模様である。蓼科・白樺湖・車山方面では、円高の影響によるインバウンド（外国人旅行者）の減少がみられる。

また、ホテル旅館からは会食や宿泊付の忘年会の減少がきかれる。

●建設業

市町村の11月の発注工事は、建築工事5件54百万円、土木工事・下水道工事53件221百万円、その他工事6件8百万円の合計64件284百万円で、前年同月比では△20件、△159百万円の減少となった。県関係の11月の公共工事（地元業者発注分）は、16件208百万円で、平成20年4月～平成20年11月の累計契約は143件3,264百万円と前年同期累計比では△15件、△2,198百万円（昨年比△40.3%）の減少となった。市町村及び県関係ともに、平成18年7月豪雨災害の復旧工事のあつた昨年と比べ大幅な減少となっている。

民間工事は、諏訪地方の10月の新設住宅着工件数は123戸で前年同月比では23戸（+23.0%）の増加となった。

景況感の悪化に伴い、建設計画の延期やキャンセルがきかれる。

●雇用

諏訪地域の10月の有効求人倍率は、前年同月を△0.19ポイント下回り1.11倍となったが、1倍台は維持しており全国（0.80倍）及び長野県（0.89倍）を上回っている。

また、諏訪地域の10月の新規求人（全数）は1,372人で前年同月比△4人（△0.3%）の減少、新規求職者数は994人で前年同月比122人（+14.0%）の増加となっている。新規求人数は、主要産業である製造業のほぼ全ての分野で落ち込んでおり、製造業全体では対前年同月比△26.5%減となっている。

なお、製造業において受注の減少に伴う派遣社員の契約解除や正社員の配置換え、完全休業日の設定や長期の年末年始休暇を実施する企業がみられる。

業種別動向

1. 電気機械

プリント基板	デジタル家電や携帯電話の新機種生産の鈍化等から生産は減少している。
コンデンサー プリンター	受注が減少しているなかで、コストダウン要請もきかれる。 大型プリンター及びサーマルプリンターは幾分弱含みであるものの、比較的堅調である。
コンダクター・ リレー	直近の受注は安定している。

2. 輸送用機械

自動車	メーカーの減産の影響から発注キャンセルや計画変更などがみられ、下請企業の受注は大幅に減少している。先行きにも不透明感が強い。
ピストンリング・ シリンダーライナー	下請企業の受注は減少している。
船外機	北米市場は落ち込んでいるものの、新興国の需要により下請企業の生産は比較的堅調である。

3. 一般機械

工作機械・専用機	全業種向けで受注は減少しており、発注のキャンセルや先延ばしが多くきかれる。
搬送用機械	食品関連や物流関連向けは他業種向けに比べ堅調であるが、総体の受注は弱含んでいる。
金型	新規受注は低調に推移している。
ダイカスト	ガス器具等は堅調な動きであるが、自動車向けは減少している。

4. カメラ・レンズ

デジタルカメラ	全国のデジタルカメラの10月の生産台数は1,370万台で、前月比2.4%増加、前年同月比9.6%増加となっている。10月の出荷台数は国内出荷72万台、海外出荷1,285万台で、出荷台数全体では前月比△10.4%減少、前年同月比10.8%増加となっている。(カメラ映像機器工業会：2008年1月分から統計参加企業が増加したことにより、「対比」の定義が厳密ではないため、前月比、前年同月比の数値はあくまで「参考値」とする。)親会社の生産計画の見直しから、下請企業の受注は大幅な減少がきかれる。
---------	--

プロジェクター
レンズ
海外生産が中心であり、国内の部品加工は減少している。
国内の加工業者が減少しており、足元の受注が増加している地域企業がきかれるが、見通しは弱含んでいる。

5. 織 維

ニット
冬物のピークを迎え、春物のサンプル生産に入っているが高級品を中心に動きは鈍い。

6. 食 品

寒天
業務用向けの荷動きが幾分悪くなってきている。今期の生産計画は昨年を下回る模様である。

味噌
需要期を向かえ総体では前年並みの出荷状況となっている。

7. 製 材

諏訪地方の10月の木造住宅着工件数は91戸で、改正建築基準法の影響のあった前年同月に比べ18戸増加したものの、受注状況は基調としては低調である。

8. 建 設

公共工事
11月に地元業者が受注した県関係の公共工事は、発注機関別に諏訪建設事務所8件、林道治山工事関係6件、その他2件の合計16件、契約金額208百万円となっている。平成20年4月～平成20年11月の累計契約は143件3,264百万円で前年同期累計比では△15件、△2,198百万円（昨年比△40.3%）の減少となった。

市町村の11月の発注工事は、建築工事5件54百万円、土木工事・下水道工事53件221百万円、その他工事6件8百万円の合計64件284百万円で、前年同月比では△20件、△159百万円の減少となった。

平成18年7月豪雨災害の復旧工事のあった昨年に比べ大幅な減少となっている。

民間工事
諏訪地方の10月の新設住宅着工件数は123戸で前年同月比では23戸（+23.0%）の増加となった。利用関係別では、「持家」81戸、「貸家」41戸、「分譲」1戸で、昨年に比べ「貸家」が増加している。改正建築基準法の影響があった昨年に比べ着工件数は増加しているものの、基調としては低調な推移となっている。
景況感の悪化に伴い、建設計画の延期やキャンセルがきかれる。

9. 商業

12月に入ると諏訪地域のガソリン価格は116円台と、高値のピークであった7月の182円台から大幅に値下がりしているものの、製造業を中心に景況感が急速に悪化していることから、消費マインドも低下したまま推移している。

衣料品は紳士物や高額品を中心に売れ行きは低調となっており、食料品はチラシ等の特売品を目当ての来店客は増えているものの、買上点数の減少から売上は伸びていないところが多い。諏訪地方の自動車販売台数（11月、軽自動車を除く）は前年同月比△21.8%と大幅な減少となった。

また、お歳暮ギフトの売れ筋価格帯は前年より低下している。

衣料	衣料品全体の動きは弱く、なかでも紳士物や高額品は低迷している。
食料品	チラシ等の特売品を目当ての来店客が増え、客数は増加しているものの、買上点数の減少から売上は前年並みのところが多くきかれる。
家電製品	薄型TVやパソコンは比較的堅調に動いている。
自動車	諏訪・岡谷を合わせた11月の車庫証明件数（軽自動車除く）は872台で前年同月比△243台（△21.8%）と大幅な減少となった。
ホームセンター	暖房用品は堅調に動いているが、生活用品に低価格志向がきかれる。

10. 観光

今年の諏訪地方は、年間を通してNHK大河ドラマ「風林火山」の効果があった昨年と比べ、入込み客数や宿泊客数が減少した年となった。地域では、滞在型で回遊性のある観光、外国人観光客の誘致、産業視察を組み込んだ観光などの検討を始めており、今後の集客が期待される。

上諏訪温泉の宿泊客数は平日の団体客の減少から前年比10%程度減少しており、下諏訪温泉は七五三の会食等により日帰り客は前月を上回ったところが多くきかれるが、総体での宿泊客数は前年より20%程度減少している模様である。

また、ホテル旅館からは会食や宿泊付の忘年会の減少がきかれる。

上諏訪温泉	宿泊客数は総体では前年より10%程度減少しており、平日の集客が課題となっている。また、宿泊を伴った忘年会の減少がきかれる。
蓼科・白樺湖・車山	宿泊客数は、総体では前年並みの模様である。円高の影響によるインバウンド（外国人旅行者）の減少がみられる。
下諏訪温泉	七五三の会食等により日帰り客は前月を上回ったところが多いが、総体での宿泊客数は前年より20%程度減少している模様である。
諏訪大社	上社・下社合わせた参拝客数は49千人で、NHK大河ドラマ「風林火山」の効果があった前年同月に比べ△26千人の減少となった。団体のバスツアーは減少したものの、七五三は天候にも恵まれ賑わった。